

第 3 回最終提言作業部会（2002.10.10 開催）結果報告	2002.10.16 庶務発信
開催日時：2002年10月10日（木） 15：00：～18：15 場 所：ぱ・る・るプラザ京都 6階 会議室6 参加者数：委員9名	
1 決定事項 ○目次構成、内容の変更等について ・1、2章は重複部分が多いため、重複部分を整理する。場合によっては章を統合する。 ・住民参加の理念は整備計画の全般に関わるため、3章「流域整備の理念の変革」の3-5「住民参加」については、3-1「河川整備に関する基本認識」のなかの1項目「主体的な住民参加」として記述する。 ○最終提言案作成責任者 ・提言案作成責任者を節ごとに1名決める。責任者は、他の委員から出された修正意見を反映させてとりまとめ、次回作業部会（10/24）で説明を行う。責任者は次頁表のとおり。 ○全委員への意見照会について ・10/10 時点の素案を全委員に意見照会予定であったが、現時点では議論が不十分であり、かえって誤解を招く恐れがあるため、今後検討を重ね、次回作業部会（10/24）の後に意見照会を行う。 ○次回作業部会までの作業予定について ・庶務は本日の議論を受けた修正案を10/16までに作業部会メンバーに送信する。 ・各節の執筆担当者は庶務案の修正案を10/20までに作業部会メンバーに送信する。その後、メンバーは全ての案に目を通し、メールまたはファクスにて意見を送信する。 ・作成責任者（次頁表参照）は、メンバーから寄せられた意見を踏まえ、最終案を提出し、作業部会で報告する。 2 主な検討の概要 ○3章 流域整備の理念の変革 <治水> ・壊滅的被害の回避と浸水被害の軽減とは矛盾しないと考える。理念の転換に加えて、地域の特性に応じて安全度を考える等、現在、浸水が頻発している地域への配慮も必要である。 ・シビルミニマム的な基準を設け、全地域でその基準までは治水対策を行うとすべきではないか。 ・治水対策については、一律の基準を設けるのではなく、住民とともに各種代替案を比較しながら考えていくことが重要である。 <利水・利用> ・水需要管理の導入について、もっと明確に記述すべき。 <環境> ・従来、河川サイドにとって水質は与えられるものであったが、今後は自ら水質を定量的に測定するなど、管理そのものに注目したシステム作りが必要。 ・国際的社会や、国家レベルの理念では「持続可能な発展」はもはや常識となっているが、その理念が現場である地方自治体や河川管理者にまでなかなか浸透していないことが問題。これらの理念が浸透するよう説得することが必要である。	

< 住民参加 >

- ・ 従来、住民は施策の「客体」として捉えられてきたが、今後は「主体」となるべきであり、この点が大きな理念転換である。

○ 4 章 整備計画のあり方について

- ・ 提言では、計画アセスの必要性を述べるとともに、河川整備計画の内容として、結果だけでなくどのような代替案をどのように検討して結論に至ったのかが分かるよう、検討過程も記述するよう提言を行う。
- ・ 法にも規定されている河川区域の指定といった考えを盛り込むべきではないか。

< 目次案および主担当 >

目次案	内容	最終版作成 責任者	執筆担当
とりまとめの目的等	最終提言にあたって	芦田委員長	芦田委員長、各部長
	■淀川水系流域委員会の目的と特徴		
	■中間とりまとめの位置付けと構成		
1. 河川をめぐる現状とその背景	・現状の問題認識	芦田委員長	芦田委員長、各部長
	・治水、利水、利用、環境面における現状とその背景		
2 流域の特性と問題点	2-1 琵琶湖・淀川水系の概要	芦田委員長	芦田委員長、各部長
	2-2 琵琶湖とそれに注ぐ川の特性と問題点		
	2-3 淀川流域の特性と問題点		
	2-4 猪名川流域の特性と問題点		
3 流域整備の理念の変革	3-1 河川整備に関する基本認識	今本委員	川那部委員、今本委員、山村委員(住民参加部分)
	3-2 治水	今本委員	今本委員、池淵委員
	3-3 利水・利用	今本委員	今本委員、水需要管理WG
	3-4 環境(水質、水位変動含む)	江頭委員	江頭委員、榊屋委員、宗宮委員、水位管理WG、水質WG
4 整備計画のあり方	4-1 基本的な考え方	山村委員	山村委員
	4-2 治水・防災	今本委員	今本委員、池淵委員
	4-3 利水	今本委員	今本委員、水需要管理WG
	4-4 利用	榊屋委員	庶務
	4-5 環境(水質、水位変動含む)	江頭委員	江頭委員、榊屋委員、宗宮委員、水位管理WG、水質WG
	4-6 ダム・貯水池	池淵委員	池淵委員、ダムWG
	4-7 住民参加	仕組みづくり、情報発信、管理のあり方等 塚本委員	山村委員、塚本委員、一般意見聴取WG

以上

このお知らせは委員の皆様主に主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。